

基本目標		基本的施策	指標所管課	指標	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	前年比	対目標比	R6達成状況	めざそう値 (R6)
1	子育て世帯をターゲットとした教育環境の充実 (教育環境)	①安心できめ細かな教育実現	学校教育課	学校生活に満足している児童・生徒の割合	%											
				①小学生		90.6	92.1	91.9	91.9	90.9	91.1	93.8	2.7	△ 1.2		①95.0
				②中学生		91.1	86.3	85.8	91.1	88.7	90.6	90.2	△ 0.4	△ 4.8		②95.0
			学校教育課	みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合	%											
				①小学生		76.5	77.7	71.0	69.5	65.4	64.9	64.5	△ 0.4	△ 15.5		①80.0
				②中学生		70.1	71.9	69.7	66.3	69.0	63.6	62.6	△ 1.0	△ 12.4		②75.0
			学校教育課	体力や運動能力に優れた児童・生徒の割合	%											
				①小学生		29.3	32.0	—	5.8	13.8	13.8	16.5	2.7	△ 18.5		①35.0
				②中学生		19.6	21.5	—	17.9	17.5	21.9	15.9	△ 6.0	△ 9.1		②25.0
			教育総務課	学校生活における経済的支援により子育て環境が良いと思う市民の割合	%	77.9	76.0	80.3	83.5	81.8	85.3	83.3	△ 2.0	△ 0.7		84.0
			教育総務課	奨学金新規利用者数	人	8	13	17	24	29	30	33	3.0	△ 20.0		53
			学校教育課	学校生活に満足している児童・生徒の割合（東地域）	%	90.0	85.7	83.3	89.4	87.5	95.2	95.8	0.6	0.8	達成	95.0
		⑤校外教育への支援	学校教育課	自主的に学習に取り組む児童・生徒の割合	%											
				①小学生		75.0	75.0	80.0	83.1	82.6	82.4	85.8	3.4	5.8	達成	①80.0
				②中学生		76.0	76.0	76.0	78.4	74.3	69.4	72.4	3.0	△ 7.6		②80.0
2	若い世代の結婚・出産・子育て等の希望の実現 (結婚・子育て)		企画課 市民課	合計特殊出生率	—	1.47	1.40	1.37	1.45	1.33	1.24	未公表	—	—		1.77
				年少人口（0～14歳）	人	6,522	6,278	6,122	5,990	5,810	5,589	5,359	△ 230.0	△ 1,210		6,569
		①子育て応援情報の発信	子育て相談課	子育て応援アプリ「みどりん」の年間ダウンロードユーザ数	人	259	279	234	201	224	—	—	—	—		300
		②働く親への支援充実	こども課	保育施設と学童保育施設の待機児童数	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	達成	0
		③出産希望者の支援	企画課・市民課	出生数	人	330	306	299	312	278	255	未公表	—			310
		④子育て世帯の経済的支援	子育て相談課	子育ての不安を持つ保護者の割合	%	33.1	30.2	26.7	29.1	33.3	34.6	39.5	△ 4.9	△ 19.5		20.0
		⑤子育て環境の整備	子育て相談課	地域における子育て支援事業への協力者数	人	233	217	196	82	91	143	148	5	△ 102		250
		⑥出会いの場の創出	企画課・市民課	婚姻届受理数	件	209	196	171	161	151	153	未公表	—			230

3	みどり市の特性を活かした地域雇用の拡大 (はたらく場)		商工課	新規求人数	人	861	762	971	1,099	702	679	685	6	△ 315		1,000
		①地域産業の活性化	商工課	商品開発・販路拡大の取組件数	件	9	11	11	18	35	37	31	△ 6	16	達成	15
			農林課	認定農業者数	人	185	187	187	187	181	182	174	△ 8	△ 11		185
		②産業の担い手育成	農林課	新規林業従事者数	人	9	4	0	0	0	0	5	5	0	達成	5
			農林課	新規就農者数	人	3	8	1	2	3	4	0	△ 4	△ 5		5
			商工課	市の融資制度を活用した開業者数	事業所	12	12	12	12	12	12	12	0	△ 6		18
		③産業活性化の基盤づくり	商工課	市の優遇制度を利用し市内に事業所を新設・増設等した件数	件	0	1	3	1	4	0	3	3	1	達成	2
4	安心して住み続けられる環境づくりと移住促進 (移住促進)		企画課	社会増減数	人	195人減	40人減	147人増	65人減	32人減	132人減	12人減	120人	106	達成	118人減
		①遊休資産の有効活用	建築住宅課	空き家バンク登録物件活用件数	件	3	0	0	10	10	5	5	0	1	達成	4
		②転入者への積極的支援	企画課・市民課	転入者数	人	1,545	1,667	1,571	1,449	1,646	1,354	1,566	212	16	達成	1,550
			企画課・税務課	新規住宅建築件数	件	185	240	185	194	189	177	151	△ 26	△ 34		185
5	地域特性に応じた魅力発信と定住促進 (観光)		観光課	観光客入込数	万人	241	233	141	157	164	187	189	2	△ 111		300万
		①多様な媒体で魅力発信	地域創生課	SNSフォロワー数	人	1,030	2,150	3,580	4,310	4,674	4,980	5,200	220	2,200	達成	3,000
			観光課	みどり市観光ガイドの会利用者数	人	3,797	4,336	420	645	1,594	1,919	1,955	36	△ 4,045		6,000
		②交流ゾーンの整備	観光課	観光資源数	件	31	34	34	34	34	31	31	0	△ 4		35
		③観光の広域連携	企画課・観光課	市内全駅の年間乗降客数	万人	166	164	108	117	129	138	141	3	△ 28		169万
		④独自イベントの実施	観光課	各種イベント開催時の観光客数	人	236,524	195,577	5,000	24,723	66,388	234,161	233,538	△ 623	△ 26,462		260,000

強化目標		基本的施策		指標所管課	指標	単位	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	前年比	対目標比	R6達成状況	めざそう値 (R6)
A	民間との協働を推進 (民間協働)			地域創生課	ボランティア・NPO活動をしている市民の割合	%	11.8	14.2	11.7	9	11.4	13.5	15.5	2.0	△ 9.5		25.0
				地域創生課	連携により実施した事業数	事業	47	50	55	69	69	67	86	19	31.0	達成	55
		①ボランティア・NPOとの協働		地域創生課	地域活動に取り組む市民団体数	団体	56	60	59	59	62	63	57	△ 6	△ 13.0		70
		②企業・団体との協働		地域創生課	連携協定を締結している企業・団体数	団体	6	6	8	10	11	11	15	4	7.0	達成	8
B	誰もが活躍できる地域社会を実現 (全員活躍)			介護高齢課	生きがいを持っている高齢者割合	%	80.9	81.2	79.6	77.3	76.2	76.7	77.9	1.2	△ 10.1		88.0
				地域創生課	男女共同参画社会が実現していると思う市民の割合	%	62.9	63.6	55.6	57.5	50.2	54.5	59.0	4.5	△ 16.0		75.0
				社会福祉課	企業の障がい者雇用率	%	2.09	1.84	2.01	2.26	2.12	2.21	2.51	0.3	0.2	達成	2.30
		①健康維持で生涯活躍		健康管理課	健康のために実践している平均項目数	項目	4.7	4.8	4.8	4.8	4.6	4.8	4.9	0.1	△ 2.1		7
		②女性の社会進出支援		地域創生課・商工課	女性就労支援のための相談会・研修会実施回数	回	2	2	0	1	3	3	5	2.0	3.0	達成	2
				地域創生課	審議会等における女性委員の割合	%	26.2	28.6	28.8	26.3	24.5	26.2	29.6	3.4	△ 5.4		35.0
C	都市部・他地域からのひとや資金の流れを強化 (交流推進)			地域創生課	連携により実施した延べ事業数	事業	53	53	63	78	78	76	86	10	21	達成	65
		①地域間交流・連携の推進		地域創生課	交流人口増加を目的に連携している自治体数	自治体	12	12	12	12	12	12	12	0	△ 3		15
		②地方創生のための財源確保		地域創生課	ふるさと納税件数	件	130	178	278	851	1,212	3,705	7,271	3,566	7,071	達成	200

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）K P I 要因と課題

基本目標 1 子育て世帯をターゲットとした教育環境の充実（教育環境）

学校生活に満足している児童・生徒の割合(①小学生)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		90.6	92.1	91.9	91.9	90.9	91.1	93.8	95.0
R6状況	誘因・要因・課題								
前年度から2.7ポイント上昇しており、めざそう値に比べて1.2ポイント低い状況です。	目指そう値には届かなかったものの、令和5年度より2.7ポイントの上昇となりました。コロナ禍以前のように、友達と交流しながら学校生活を送れるようになったことが要因のひとつとして考えられます。今後も、子供たちが主体的に考え、動き出すことを支援し、他者と協働しながら学びを深められるよう、ICT機器の有効活用等を通して一人一人に寄り添った質の高い教育を推進していきます。また、Q-Uの結果分析を生かすとともに、児童主体の活動を多く取り入れる等の工夫を通して自己肯定感を高め、居心地の良い学校・学級づくりを行います。								
備考：「学校評価がイ・ドライン」（文部科学省）に従って各学校が行った学校評価の結果を集計して取りまとめています。									

学校生活に満足している児童・生徒の割合(②中学生)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(%)	91.1	86.3	85.8	91.1	88.7	90.6	90.2	95.0
R6状況	誘因・要因・課題								
前年度から0.4ポイント下降しており、めざそう値に比べて4.8ポイント低い状況です。	令和5年度より僅か0.4ポイントの下降となりましたが、ほぼ横ばい傾向にあります。コロナ禍以前のように、学校行事や部活動といった通常の学校生活が送れるようになりました。さらに、子供たちが主体的に考え、動き出すことを支援し、他者と協働しながら学びを深められるよう、一人一人に寄り添った質の高い教育を推進していきます。そして、生徒一人一人が活躍できる場をクラスや学校行事、生徒会活動等の中で設定し、達成感や自己肯定感をさらに高めていきます。								
備考：「学校評価ガイドライン」（文部科学省）に従って各学校が行った学校評価の結果を集計して取りまとめています。									

基本的施策 ①安心できめ細かな教育実現

みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合(①小学生)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		76.5	77.7	71.0	69.5	65.4	64.9	64.5	80.0
R6状況	誘因・要因・課題								
前年度から0.4ポイント下降しており、めざそう値に比べて15.5ポイント低い状況です。	令和5年度よりもさらに0.4ポイント下降しました。依然として下降傾向が続いており、課題は大きいと考えます。各学校で取り組んでいる、子供主体の学びの実現に向けた授業改善やICT機器の活用が、まだ成果として表れていないことが考えられます。児童が課題を自ら見だし、自分で学びをつくる楽しさを実感できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学びの転換を図ります。また、個々の学力にあった個別最適な学びができるよう努めます。								
備考：									

みどり市学力調査において、目標値を上回った児童の割合(②中学生)			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(%)	70.1	71.9	69.7	66.3	69.0	63.6	62.6	75.0
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から1.0ポイント下降しており、めざそう値に比べて12.4ポイント低い状況です。		令和5年度より1.0ポイント下降しました。令和4年度から下降傾向が続いており、課題は大きいと考えます。各学校で取り組んでいる、子供主体の学びの実現に向けた授業改善やICT機器の活用が、まだ成果として表れていないことが考えられます。生徒が自ら課題を設定し、他者と交流しながら試行錯誤して解決できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた、学びの転換を図ります。また、個々の学力に合った個別最適な学びができるよう努めます。								
		備考：								

体力や運動能力に優れた児童・生徒の割合(①小学生)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		29.3	32.0	－	5.8	13.8	13.8	16.5	35.0
R6状況	誘因・要因・課題								
前年度から2.7ポイント上昇しており、めざそう値に比べて18.5ポイント低い状況です。	目指そう値にはまだまだ及びませんが、令和5年度より2.7ポイント上昇しました。学校生活が通常の状態に戻り、運動する機会が確実に増えたことが要因として考えられます。引き続き、体育の授業を通して運動の推進を図るとともに、各校の体力向上プランに基づく取組を充実させ、さらに運動する機会を確保します。特に、体育的行事を工夫し、身体的活動量が増加するような取組を行っていきます。								
備考：体力・運動能力調査における優良証									

体力や運動能力に優れた児童・生徒の割合(②中学生)		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(%)	19.6	21.5	—	17.9	17.5	21.9	15.9	25.0
R6状況	誘因・要因・課題								
前年度から6.0ポイント下降しており、めざそう値に比べて9.1ポイント低い状況です。	令和5年度より6.0ポイント下降しました。コロナ禍の影響がなくなり、体育の授業や部活動を通常通りに実施できるようになりましたが、熱中症対策による運動制限が要因のひとつとして考えられます。引き続き、体育の授業を通して運動の推進を図るとともに、各校の体力向上プランに基づく取組を充実させ、さらに運動する機会を確保します。また、部活動指導員を有効活用し、部活動の充実を通して専門的技術の向上に努めます。								
備考：体力・運動能力調査における優良証									

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）K P I 要因と課題

基本的施策 ②子育て世帯の学資援助										
学校生活における経済的支援により子育て環境が良いと思う市民の割合		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
	実績(%)	77.9	76.0	80.3	83.5	81.8	85.3	83.3	84.0	
R6状況	誘因・要因・課題									
前年度から2.0ポイント減少し、めざそう値(R6)に比べて0.7ポイント低い状況です。	R6年度は、R5年度より2.0ポイント減少し83.3%の数値となりました。 本事業により「子育て環境が良くなった」「どちらかというと良くなった」と回答した方が2.0ポイント減少しましたが、「変わらない」と回答した方が2.2ポイント増加していることから本施策に対し、市立小・中学校の給食費無料化が事業開始から8年経過しましたことから、一定程度認識が定着したことで当然のことと認識されつつあると考えられます。 継続事業として実施してきたことで改めて子育て世代への重要な役割であると考えられることから、引き続き、本施策内容の更なる周知や理解を図るべく取り組んでいきたい。									
備考：まちづくり市民アンケート										
基本的施策 ③将来を担う若者を支援										
奨学金新規利用者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
	実績(人)	8	13	17	24	29	30	33	53	
R6状況	誘因・要因・課題									
R6年度の新規利用者数は3人で前年度から2人増加しました。新規利用者数の累計は33人でめざそう値との差は20人です。	令和6年度は、新規契約者3名に奨学金を貸与しました。 本市の奨学金の利用者は減少傾向にありますが、その要因として、日本学生支援機構が「高等教育就学支援新制度」として対象を拡充していることや、市内の子どもの数が減少していることが挙げられます。 みどり市奨学金をより利用しやすい制度とするため令和7年度新規契約者より返還支援制度を導入し、奨学金を必要とする学生に対する周知に取り組んでいきます。									
備考：市奨学金新規契約者数及び市奨学金継続貸与者数										
基本的施策 ④小中一貫教育の導入										
学校生活に満足している児童・生徒の割合（東地域）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
	実績(%)	90.0	85.7	83.3	89.4	87.5	95.2	95.8	95.0	
R6状況	誘因・要因・課題									
前年度から0.6ポイント上昇し、昨年度に引き続き、めざそう値に達しています。	令和4年度から義務教育学校となった「あずま小中学校」では、特色ある教育課程を編成し、英語教育やプログラミング教育に積極的に取り組んでいます。また、1年生から9年生までの異学年交流を通して、他の学校にはない連帯感や上級生としての自覚の芽生え等により、令和5年度からさらに上昇した要因だと考えられます。今後も東地域ならではの教育資源やきめ細かな指導を生かし、魅力ある学校づくりを行っていきます。									
備考：学校評価における学校生活満足度評価（東地域のみ）										
基本的施策 ⑤校外教育への支援										
自主的に学習に取り組む児童・生徒の割合（①小学生）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
	実績(%)	75.0	75.0	80.0	83.1	82.6	82.4	85.8	80.0	
R6状況	誘因・要因・課題									
前年度から3.4ポイント上昇し、昨年度に引き続き、めざそう値を達成しています。	令和5年度から3.4ポイントと大きく上昇し、めざそう値を達成しています。各学校できめ細かな指導を継続してきた成果だと考えられます。今後も学校の授業改善だけでなく、家庭学習の内容や方法について検討するとともに、学校と家庭が連携して学力向上に努められるよう、保護者への啓発を続けていきます。									
備考：学校評価における家庭学習評価										
自主的に学習に取り組む児童・生徒の割合（②中学生）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
	実績(%)	76.0	76.0	76.0	78.4	74.3	69.4	72.4	80.0	
R6状況	誘因・要因・課題									
前年度から3.0ポイント上昇しましたが、めざそう値に比べて7.6ポイント低い状況です。	令和4年度から下降傾向が続いていましたが、令和5年度より3.0ポイント上昇しました。小学校と同様、各学校できめ細かな指導を継続してきた成果だと考えられます。引き続き、家庭学習の内容や方法についての指導を行うとともに、学校と家庭が連携して学力向上に努めることで、家庭においても生徒が自主的に学習に取り組むことができるよう支援していきます。									
備考：学校評価における家庭学習評価										

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）K P I 要因と課題

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育て等の希望の実現（結婚・子育て）

合計特殊出生率		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績		1.47	1.40	1.37	1.45	1.33	1.24	未公表	1.77
R6状況		誘因・要因・課題							
R6年度の数値は未公表です。 【参考】R5年度数値はR4年度から0.09ポイント減少しており、めざそう値（R6）に比べて0.53ポイント少ない状況です。		令和5年度に1.24と大きく低下し、県平均の1.25を下回る結果となりました。令和6年度の数値は現時点で未公表ですが（令和6年度数値はR7.10月頃公表予定）、全国的な出生数の減少傾向が続いており、本市においても同様の状況が見込まれます。 今後は、子ども・子育て世帯の経済的支援に加え、安心して子育てできる住環境や地域全体で子育てを支える仕組みづくりが求められます。本市では「こども未来基金」を活用し、令和7年度から11年度までの5か年計画で、切れ目のない総合的な子育て支援策を展開していくことを課題解決の柱として検討しています。							
		備考：出生率計算の際の分母の人口数を出産可能年齢（15～49歳）の女性に限定し、各年齢ごとの出生率を足し合わせ、一人の女性が生涯何人の子供を産むのか推計							
年少人口（0～14歳）		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		6,522	6,278	6,122	5,990	5,810	5,589	5,359	6,569
R6状況		誘因・要因・課題							
前年度から230人減少しており、めざそう値（R6）に比べて1210人少ない状況です。		年少人口は平成30年度の6,522人から一貫して減少傾向にあり、全国や群馬県全体と同様に、少子化の影響を強く受けている状況です。 今後は、教育・子育て支援のさらなる充実に加え、住環境や働く場の整備、地域コミュニティによる支え合いの強化など、複合的な施策を展開していくことが求められます。							
		備考：住民基本台帳における年少人口（各年度4月末時点）							
基本的施策 ①子育て応援情報の発信									
子育て応援アプリ「みどりん」の年間ダウンロードユーザ数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		259	279	234	201	224	-	-	300
R6状況		誘因・要因・課題							
令和5年度からアプリのリニューアルを行い、委託先が変更になったためダウンロードユーザ数が把握できなくなりました。		令和5年度からアプリのリニューアルを行い、アプリ名を「みどり市子育てナビ」としました。新たに、「予防接種AIスケジューラー」や「離乳食サポート」などの機能が追加されました。令和6年度は令和5年度に比べ、子育て情報を多く掲載しました。今後多くの方へ「みどり市子育てナビ」を登録してもらうために、保健センターでの母子手帳交付時・健診時、児童手当手続時等にチラシを配布するなどして周知に努めていきます。また、子育て情報も数多く掲載していけるように努めます。							
		備考：							
基本的施策 ②働く親への支援充実									
保育施設と学童保育施設の待機児童数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		0	0	0	0	0	0	0	0
R6状況		誘因・要因・課題							
前年度から引き続き0人であり、めざそう値（R6）を維持している状況です。		保育施設と学童保育施設への入所について、待機児童は発生しておりません。保育施設では、育児休暇明けの復職等により年度途中での低年齢児の入所希望が増え、私的待機（特定の施設を希望しての待機）が発生するのに対し、学童保育施設は年度後半に向けて高学年児童が退所し、減少していく傾向があります。 今後も年度途中での待機児童が発生しないよう、受入体制を維持していきます。							
		備考：保育施設と学童保育施設の待機児童数（各年度4月1日時点）							
基本的施策 ③出産希望者の支援									
出生数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		330	306	299	312	278	255	未公表	310
R6状況		誘因・要因・課題							
R6年度の数値は未公表です。 【参考】R5年度数値は、R4年度から23人減少しており、めざそう値（R6）に比べて55人少ない状況です。		みどり市の出生数は、令和5年度に255人と過去6年間で最少を記録しました。 その背景としては、人口減少の進行に加え、共働き世帯の増加に伴う子育てと仕事の両立の難しさ、さらに物価高騰による生活コスト上昇など、経済的・社会的要因が大きく影響しています。また、若年層の市外転出や将来への不安感も要因となっています。 今後は、子育ての経済的負担軽減に加え、保育や教育環境の充実、地域ぐるみでの子育て支援体制の強化など、幅広い視点で施策を展開していく必要があります。							
		備考：群馬県の人口動態統計概況							
基本的施策 ④子育て世帯の経済的支援									
子育ての不安を持つ保護者の割合		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(%)		33.1	30.2	26.7	29.1	33.3	34.6	39.5	20.0
R6状況		誘因・要因・課題							
前年度から4.9ポイント低下し、めざそう値（R6）に比べて19.5ポイント低下している状況です。		市民アンケートの結果から、何らかの育児・子育てに関して不安を感じている保護者の回答の割合が微増してます。不安の原因は「仕事で子育ての時間がとれない」が多くを占める中、一方では、「物価高騰」「金銭面」といった「経済的不安」の意見もあります。 子育ての不安を解消できるよう、国の子育て施策に注視し、市の子育て施策に取り組む必要があります。							
		備考：まちづくり市民アンケート							

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）K P I 要因と課題

基本的施策 ⑤子育て環境の整備											
地域における子育て支援事業への協力者数				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
			実績(人)	233	217	196	82	91	143	148	250
R6状況			誘因・要因・課題								
前年度から5人増加していますが、H30からの実績からめざそう値（R6）に比べて少ない状況です。			子育て応援団登録者数は増加しました。 地域に子育ての協力者を増やすため、積極的な子育て講座の開催やファミリーサポートセンターの制度周知に取り組んでいく必要があります。								
			備考：子育て応援サポーター認定者数（年間）、子育て応援団登録者数（年間）、ファミリーサポートセンター会員数（育児分）の合計								
基本的施策 ⑥出会いの場の創出											
婚姻届受理数				H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
			実績(件)	209	196	171	161	151	153	未公表	230
R6状況			誘因・要因・課題								
R6年度の数値は未公表です。 【参考】前年度から2件増加しておりますが、めざそう値（R6）に比べて77件少ない状況です。			みどり市の婚姻届受理数は、令和5年度には153件となり、令和4年度の151件からわずかに増加したものの、依然として長期的には減少傾向にあります。 その要因としては、晩婚化の進行や未婚率の上昇、経済的不安定さ、さらには価値観の多様化によって結婚を選択しない生き方が広がっていることが挙げられます。 これまで、移住定住の促進や子育て支援の充実など、結婚後の生活を支える施策を進めてきましたが、結婚そのものを後押しする取り組みについては十分ではありません。今後は、経済的支援だけでなく、出会いの場の提供やライフスタイルに応じた結婚支援策の拡充が必要です。								
			備考：群馬県の人口動態統計概況								

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）K P I 要因と課題

基本目標 3 みどり市の特性を活かした地域雇用の拡大（はたらく場）

新規求人数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		861	762	971	1,099	702	679	685	1,000
R6状況		誘因・要因・課題							
前年度から6人増加しており、めざそう値（1,000人）に比べて315人少ない状況です。	少子高齢化による労働力人口の減少や、景気の不透明感による事業者の採用抑制、物価高騰による人件費負担の増加などにより、雇用拡大が進まず新規求人数が増えていない状況です。 今後も、エネルギー・原材料価格の高騰や最低賃金の上昇による物価高騰、米国関税の引き上げや不透明感など、事業者の安定経営に対する懸念材料があります。 引き続き事業者の安定経営だけでなく、新たな投資への支援を行い、事業者の発展、雇用の場の創出へとつなげていく必要があります。								
	備考：桐生職業安定所管内（各年度3月期の新規求人数）								
基本的施策 ①地域産業の活性化									
商品開発・販路拡大の取組件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(件)		9	11	11	18	35	37	31	15
R6状況		誘因・要因・課題							
前年度から6件減少し、めざそう値（15件）を16件超えている状況です。	展示会等に出店し販路拡大に取り組む事業者が多い状況であり、新商品開発やパッケージ改良に取り組む事業者は同程度で推移しています。 少しずつ補助金が浸透し、件数はここ数年、堅調に推移している状況です。 より多くの事業者が事業拡大に挑戦できるよう支援を継続していきます。								
	備考：新商品開発チャレンジ支援補助事業の年間補助件数								
認定農業者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		185	187	187	187	181	182	174	185
R6状況		誘因・要因・課題							
前年度から8人減少し、めざそう値（185人）に比べて11人少ない状況です。	認定農業者の高齢化が進んでおり、死亡や廃業により8名減となりました。 補助事業や制度資金を活用する際に、認定農業者に認定されていることが、要件となっている場合が多いため、今後も引き続き、認定農業者のメリットをPRし、営農継続できるよう高収益化や省力化の施策に取り組んでいきます。								
	備考：県・市の認定する認定農業者数								
基本的施策 ②産業の担い手育成									
新規林業従事者数		(H29)	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		9	4	0	0	0	0	5	5
R6状況		誘因・要因・課題							
前年度から5人増加し、めざそう値（R6）と同数です。	みどり市地域おこし協力隊では林業従事希望者を積極的に受け入れており、令和6年度までに6人が卒業し、林業に従事しております。 また、令和7年2月には、新たに林業従事者を希望する協力隊が1人加わり、今後も任期を終えた隊員が増えることが見込まれます。引き続き、地元の林業家や森林組合と連携し、市内で林業に従事できるような体制を整備していきます。								
	備考：林業従事者実態調査								
新規就農者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(人)		3	8	1	2	3	4	0	5
R6状況		誘因・要因・課題							
前年度は4人新規就農者がいましたが、令和6年度は0人で、めざそう値（5人）を達成することができませんでした。	前年度は4名新規就農者がいましたが、令和6年度は0人の実績となりました。新たな担い手を確保するため、新規で農業を始める方に対して、農協、県、農業委員会等と連携し、農作業における技術習得や農地の確保など、新規参入しやすいよう総合的にサポートできる体制整備を進め、魅了ある農業のPRに取り組んでいきます。								
	備考：新規就農者実態調査								
市の融資制度を活用した開業者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(事業所)		12	12	12	12	12	12	12	18
R6状況		誘因・要因・課題							
前年度と同数で、めざそう値（18事業所）に比べて6事業所少ない状況です。	令和6年度までに市独自の融資制度を活用した開業者数は12事業所と横ばいの状況が続いています。円安や資源価格の高騰による物価高騰等の影響もあり、新たな利用者が増えていない状況です。 今後、物価高騰の長期化や米国関税の引き上げなど不安定な経済状況の中でも、新規開業につながる支援策の一つとして、制度の周知が求められます。								
	備考：起業家チャレンジ資金貸付事業延べ利用者数								

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）K P I 要因と課題

基本的施策 ③産業活性化の基盤づくり									
市の優遇制度を利用し市内に事業所を新設・増設等した件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(件)	0	1	3	1	4	0	3	2
R6状況		誘因・要因・課題							
前年度から3件増加しており、めざそう値に比べて1件多い状況です。		引き合い相談を継続して行った結果、令和6年度は前年度から3件増加しました。優遇制度については、今後の市内への誘致推進に向け制度の拡充を行う予定です。産業団地整備や都市計画との整合性の確保を通じて、まとまりのある土地利用を図りながら企業誘致に取り組みます。							
		備考：企業立地促進事業の指定事業所数							

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）K P I 要因と課題

基本目標 4 安心して住み続けられる環境づくりと移住促進（移住促進）

社会増減数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
		実績	195人減	40人減	147人増	65人減	32人減	132人減	12人減	118人減
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から120人減少しており、めざそう値（R6）と比べて106人多い状況です。		令和6年度の社会増減数は12人減となり、前年度の132人減から大幅に改善しました。依然として転出超過ではあるものの、過去数年間と比較して減少幅が縮小しており、一定の改善傾向が見られます。 この背景には、全国的な人口移動の落ち着きに加え、本市が取り組んできた移住・定住支援策や子育て世帯への経済的支援などの効果が一定程度寄与していると考えられます。本市の強みである自然環境や教育支援施策を効果的に発信し、移住希望者やUIターンを検討する層に対して魅力を伝えていく必要があります。								
		備考：住民基本台帳（4月1日～3月31日の合計） 転入者数－転出確定者数								
基本的施策 ①遊休資産の有効活用										
空き家バンク登録物件活用件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
		実績(件)	3	0	0	10	10	5	5	4
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度と同件数となり、めざそう値（R7）に比べて1件多い状況です。		令和6年度の成約はめざそう値を達成しております。令和6年度事業として、東町地区で無料相談会を2月に実施し、空き家バンクの登録件数が増え、登録物件数の確保ができております。また、全国版空き家バンク(at home)に登録し、全国へ登録物件のPRを行いました。今後も、空き家バンク登録件数の増加が見込まれますが、引き続き活用件数の増加を図るため、無料相談会等を継続していく必要があります。								
		備考：空き家バンク登録台帳								
基本的施策 ②転入者への積極的支援										
転入者数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
		実績(人)	1,545	1,667	1,571	1,449	1,646	1,354	1,566	1,550
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から212人増加し、めざそう値（R6）と比べて16人多い状況です。		転入者数は前年度の1,354人から212人増加しました。新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、社会経済活動が本格的に再開したことや、都市部から地方への移住・二地域居住への関心の高まりが一因と考えられます。 今後は、子育て・教育分野の施策をさらに強化するとともに、移住希望者向けのオンライン相談や移住体験ツアーなどの取り組みを継続し、市外への情報発信を強化していく必要があります。								
		備考：住民基本台帳（4月1日～3月31日の合計）								
新規住宅建築件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値	
		実績(件)	185	240	185	194	189	177	151	185
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から26件減少しており、めざそう値（R6）に比べて34件少ない状況となっています。		令和元年度は消費税が10%に増税されたことによる駆け込み需要があったため大きく増加し、令和2年度はその反動や、新型コロナの影響もあり、前年比で55件減少しました。令和3年度は増加に転じましたが、令和4年度以降については、建築資材価格高騰等の影響もあり減少が続いています。 引き続き新規住宅建築による定住人口の増加を図るため、子育てや住宅支援施策などの定住に関する情報を集約して発信し、市の魅力や住みやすい環境をPRしていく必要があります。								
		備考：固定資産の価格等の概要調書								

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）K P I 要因と課題

基本目標 5 地域特性に応じた魅力発信と定住促進（観光）

観光客入込数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(万人)	241	233	141	157	164	187	189	300
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から2万人増加しており、めざそう値（R6）に比べて111万人少ない状況です。		実績が目指そう値と乖離している理由は、新型コロナウイルスの影響により、旅行形態が団体から個人へとシフトしたことが原因と考えられます。また、国民宿舎サンレイク草木の建て替えに伴う休館により、周辺施設も含めて入込が伸び悩んでいる状況です。対策としては、新しい滞在型宿泊施設の完成や美術館、博物館の改修などの整備事業に加えて、観光協会やモンベル、市民活動など公民連携による観光推進並びに桐生市や日光市足尾町との連携による周遊観光の推進が必要です。								
		備考：観光客数・消費額調査								
基本的施策 ①多様な媒体で魅力発信										
SNSフォロワー数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(人)	1,030	2,150	3,580	4,310	4,674	4,980	5,200	3,000
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から220人増加しており、めざそう値に比べて2,200人多い状況です。		観光課が開設したInstagramにおいては、行政側からの発信にとどまらず、フォトコンテストを開催したことで、参加者がフォロワーとなり発信することによる相乗効果によりフォロワー数の増加に繋がったと考えられます。今後は市民PRチーム「み撮り部」との連携を行うことで、より多くの利用者へのリーチを図ります。								
		備考：Instagramみどり市公式アカウント								
みどり市観光ガイドの会利用者数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(人)	3,797	4,336	420	645	1,594	1,919	1,955	6,000
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から36人増加しており、めざそう値（R6）に比べて4,045人少ない状況です。		実績が目指そう値と乖離している理由は、新型コロナウイルスの影響により、旅行形態が団体から個人へとシフトしたことが原因と考えられます。観光協会と連携したガイド付きツアーの開催など、新たな取り組みによる観光誘客を推進していく必要があります。また、ガイドの高齢化が課題となっており、今後はガイドの育成も必要と考えられます。								
		備考：みどり市観光ガイドの会実績報告書								
基本的施策 ②交流ゾーンの整備										
観光資源数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(件)	31	34	34	34	34	31	31	35
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から横ばいで、めざそう値（R6）に比べて4件少ない状況です。		今後は、観光資源数といった数に目を向けるのではなく、観光資源をいかにして磨き上げ、観光誘客につなげるかが課題となります。								
		備考：群馬県観光地点等名簿								
基本的施策 ③観光の広域連携										
市内全駅の年間乗降客数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(万人)	166	164	108	117	129	138	141	169
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から3万人増えましたが、めざそう値（R6）より28万人少ない状況です。		回復傾向にあり、引き続き緩やかな増加を示しています。ただし、令和元年度の164万人と比べると、依然として回復途上であることがわかります。利用者数増加の要因としては、観光需要の回復や、沿線地域におけるイベントや観光施設の再開・リニューアル効果などが考えられます。今後は、利便性向上や利用啓発をさらに進め、鉄道とバスを軸とした公共交通ネットワークの利用拡大につなげていく必要があります。								
		備考：鉄道各社の市内駅乗降客数を集計								
基本的施策 ④独自イベントの実施										
各種イベント開催時の観光客数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(人)	236,524	195,577	5,000	24,723	66,388	234,161	233,538	260,000
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から623人減少しており、めざそう値（R6）に比べて26,462人少ない状況です。		全体的にはイベント来場者数は増加傾向にあるものの、神戸駅花桃まつりが開花より早い開催だったことや大間々祇園まつりに対して、3日間のうち2日間が桐生まつりの日程と重なったことから、令和5年度よりも微減となりました。引き続き、集客力のあるイベント内容の見直しやPR方法の見直しを図る必要があります。また、各実行委員会や関係団体との調整を進め、イベント自体のあり方などの検討も必要です。								
		備考：観光客数・消費額調査のうちイベントの観光客数								

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）K P I 要因と課題

強化目標A 民間との協働を推進（民間協働）

ボランティア・NPO活動をしている市民の割合			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(%)	11.8	14.2	11.7	9.0	11.4	13.5	15.5	25.0
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から2ポイント増加しており、めざそう値（R6）に比べて10.5ポイント低い状況です。		令和6年度は市民提案型補助金の交付に加え、令和6年度は新たに行政視察を行い、市民活動団体に所属している市民向けに他市事例に触れる機会を設けました。引き続き、市民活動に関する情報を発信し、市民が活動に参加しやすい環境を整えていく必要があります。								
		備考：まちづくり市民アンケート								
連携により実施した事業数(企業・団体)			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(事業)	47	50	55	69	69	67	86	55
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から19件増加しており、目指そう値（R6）を達成していません。		桐生大学・新田みどり農協とは定期的に会議を開催し、順調に事業を実施しています。令和6年度は新たに4件包括連携協定を締結し、かつ既存の協定締結先へチラシ配布など広く協力いただいたことから事業数が増加した。今後も新規連携事業創出に取り組んでいきたい。								
		備考：包括的な連携協定に基づき実施した延べ事業数								
基本的施策 ①ボランティア・NPOとの協働										
地域活動に取り組む市民団体数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(団体)	56	60	59	59	62	63	57	70
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度に比べ6団体減少しており、めざそう値（R6）に比べて13件少ない状況です。		団体情報の登録・更新については、広報や市ホームページにより呼びかけています。一方で市民活動助成金の交付を行い、活動の再開や継続の助成になりました。今後も、市民活動に関する情報を発信し、市民が活動に参加しやすい環境づくり取り組み、市民活動の活性化を推進するとともに新規設立団体や既存団体の掘り起こしに力を入れる必要があります。								
		備考：市が把握しているボランティア・NPO団体数								
基本的施策 ②企業・団体との協働										
連携協定を締結している企業・団体数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(団体)	6	6	8	10	11	11	15	8
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から4団体増加しており、目指そう値（R6）を達成していません。		団体からの連携協定の締結の申し入れを受け、連携して活動を行うことによる、さらなる市民サービスの向上や地域の活性化を目指し、協議を進めています。令和6年度は4団体との包括連携協定を締結し、今後連携事業実施に向けて調整を進めていきます。								
		備考：市との包括的な連携協定を締結している企業・団体等の数								

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）K P I 要因と課題

強化目標B 誰もが活躍できる地域社会を実現（全員活躍）

生きがいを持っている高齢者割合			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(%)	80.9	81.2	79.6	77.3	76.2	76.7	77.9	88.0
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から1.2ポイント増加しており、めざそう値(R6)に比べて10.1ポイント低い状況です。		新型コロナウイルスの影響により停滞していた趣味の活動や地域の人たちとの交流が以前の状況に戻りつつあることが要因として考えられます。しかしながら、めざそう値と約10ポイントの差があるため、多くの高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって生活できるよう引き続き新たな施策を検討してまいります。								
		備考：まちづくり市民アンケート								
男女共同参画社会が実現していると思う市民の割合			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(%)	62.9	63.6	55.6	57.5	50.2	54.5	59.0	75.0
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から4.5ポイント増加しており、めざそう値(R6)に比べて16ポイント低い状況です。		前年より増加しています。要因の一つとして、コロナ禍以前の状況に戻りつつ、リモートワークなど働き方の変化等により仕事と生活の時間配分がより自由になったことが誘因ではないかと考える。引き続き、男女共同参画へ啓発に努め、理解を深めてもらえるよう努めていきます。								
		備考：まちづくり市民アンケート								
企業の障がい者雇用率			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(%)	2.09	1.84	2.01	2.26	2.12	2.21	2.51	2.30
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から0.3ポイント増加しており、めざそう値(R6)を達成しています。		障害者の職業紹介状況は、コロナ禍の影響で一時的に減少しましたが、回復傾向にあり、令和6年4月に引き上げられた法定雇用率(2.2%→2.5%)と同水準となっており、めざそう値を達成している。今後も障がい者雇用に対する企業の理解を深め、引き続き、国や関係部局と連携した広報活動を行い、障がい者の自立に向けた取組を行っていく必要があります。								
		備考：桐生職業安定所集計のうちみどり市分								
基本的施策 ①健康維持で生涯活躍										
健康のために実践している平均項目数			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(項目)	4.7	4.8	4.8	4.8	4.6	4.8	4.9	7.0
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から0.1ポイント増加していますが、目指そう値(R6)に比べて2.1ポイント少ない状況です。		「まちづくり市民アンケート」の多くの項目で前年度と比べ横ばいですが、特に「年に1回は健診(検診)を受けている」を心がけている人が7.9ポイント増加しています。また、「たばこを吸わない」「朝食を毎日摂る」は6割、「年に1回は健診(検診)を受けている」は7割を超える人が継続して実践しています。令和6年度中に「第2次みどり市健康プラン21」の中間評価を行ったところ、健康行動の実践は2極化している傾向があることがわかりました。市では健康について無関心である層へのアプローチとして、更なる工夫が必要であるため「健幸アンバサダー」事業を取り入れるなど、個々の生活に合わせ、興味をもって健康行動の実践につながるよう情報発信していきます。								
		備考：まちづくり市民アンケート								
基本的施策 ②女性の社会進出支援										
女性就労支援のための相談会・研修会実施回数(年間)			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(回)	2	2	0	1	3	3	5	2
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から2回増加し、めざそう値(2回)に比べて3回多い状況です。		すべて群馬県主催の事業となり、女性を対象に「IT人材育成」や「女性活躍企業推進」を目的とした養成講座や体験会を実施しています。今後も女性が家事や子育てに制限されることなく社会に参画しやすい環境になるよう、群馬県や関係機関と連携し実践的な事業を推進していく必要があります。								
		備考：県・市などが主催する相談会・研修会実施回数								
審議会等における女性委員の割合			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
		実績(%)	26.2	28.6	28.8	26.3	24.5	26.2	29.6	35.0
R6状況		誘因・要因・課題								
前年度から3.4ポイント増加しており、めざそう値(R6)に比べて5.4ポイント低い状況です。		女性委員の割合はめざそう値に届いていない状況であり、各所属の所管する審議会等においては男性委員の割合が多い状況は変わっていません。しかし、前年度に比べ女性委員の割合が増加しているため女性の意見反映の機会が増えてきていることが考えられます。引き続き「みどり市審議会等の取扱いに関する指針」の全庁的に周知や積極的に働きかけを実施し、女性委員の就任を推進していきます。								
		備考：市政に関する審議会等の女性委員割合								

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）K P I 要因と課題

基本的施策 ③障がい者の自立と共生									
自立支援給付を受けて地域生活している人数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
	実績(人)	401	410	438	488	509	542	601	550
R6状況	誘因・要因・課題								
前年度と比べて59人増加しており、めざそう値（R6）を達成しています。	障がいに対する認識が広がり、就労継続支援、共同生活援助など自立に向けた障がい福祉サービス利用者が増加しています。その一方で、みどり市をはじめ全国的な課題として相談支援専門員の不足により相談支援体制が逼迫しているのが現状です。相談支援専門員の増員に向けた事業所訪問等を積極的に行い、相談支援専門員の職務環境向上に取り組み、引き続き自立支援給付の拡大に努めていく必要があります。								
	備考：自立支援給付事業利用者数								

みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略（中期）K P I 要因と課題

強化目標C 都市部・他地域からのひとや資金の流れを強化（交流促進）

連携により実施した延べ事業数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(事業)		53	53	63	78	78	76	86	65
R6状況	誘因・要因・課題								
前年度より9事業減少しましたが、めざそう値(R6)を達成しています。	例年実施している事業に加えて、令和6年度は多くの企業へチラシ配布を新たにお願いしたため件数が大幅に伸びました。現状、連携事業については固定化しているものも多く、事業が停滞している連携先も見られます。そのため、新規連携事業の創出を行うことで、連携事業の活発化を図り、市民サービスの向上を目指していきます。								
備考：他自治体との協議会・協定等に基づき実施した延べ事業数									

基本的施策 ①地域間交流・連携の推進									
交流人口増加を目的に連携している自治体数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(自治体)		12	12	12	12	12	12	12	15
R6状況	誘因・要因・課題								
前年度と同様の数値であり、めざそう値に比べて3自治体少ない状況です。	「両毛広域都市圏総合整備推進協議会」で連携する両毛地域10自治体及び都市間交流事業で連携する東京都墨田区、台東区の合計12自治体であり、平成30年度から自治体数は変わっていません。今後も、自治体間の様々なつながりやきっかけを活用し、交流人口増加を目的とした都市間連携を推進していきます。								
備考：包括連携組織・都市間交流等により連携している自治体数									

基本的施策 ②地方創生のための財源確保									
ふるさと納税件数		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	めざそう値
実績(件)		130	178	278	851	1,212	3,705	7,271	200
R6状況	誘因・要因・課題								
前年度から3,566件増加しており、めざそう値(R6)に比べて7,071件多い状況です。	前年度より大幅に増加しています。令和4年度に続き新規返礼品の充実及び人気返礼品の確立が主な要因として考えられます。引き続き、返礼品の充実やPRに努め、財源確保及びみどり市の応援者の増加を図ります。								
備考：ふるさと納税申込件数									